

# 令和5年度 第1回芽室町環境審議会議事録

日時 令和5年11月2日(木) 15時30分から16時40分まで

場所 役場地下 第5・6会議室

## ○会議次第

### 1 開会

橋本 直樹 環境土木課長

### 2 会長挨拶

貫田 正博会長から挨拶

### 3 報告事項

(1) 第5期芽室町総合計画(環境部門)の評価結果について

(2) 芽室町一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画)進捗状況について

### 4 協議事項

(1) 令和6年度実施予定重点取組事項について

(2) 芽室町地球温暖化防止実行計画策定について

### 5 その他

### 6 閉会

橋本 直樹 環境土木課長

## ○出席委員(敬称略)

貫田 正博 稲垣 輝幸 阿部 浩 佐藤三千子 砂金 新一

福間 智子 東海林千景 村瀬 雅道 池田 敦志 後藤 勝幸

## ○欠席委員(敬称略)

大塚 玲奈 横田 聡 鈴木 昭博 井上 貴明

## ○傍聴人

0人

## ○町側出席者

橋本 直樹 環境土木課長

齋藤 和也 環境土木参事

久保田伸也 環境土木課生活環境係長

中村 勢太 環境土木課生活環境係主事

## ○会議要旨

### 報告事項

- (1) 第5期芽室町総合計画（環境部門）の評価結果について  
久保田係長から資料に基づき報告。委員からの質問等は特になし。
- (2) 芽室町一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）進捗状況について  
久保田係長から資料に基づき報告。委員からの質問等は特になし。

### 協議事項

- (1) 令和6年度実施予定 重点取組事項について  
久保田係長から資料に基づき説明。

※各委員からの食品ロスに対する意見等

#### 【委員】

日頃より飲食に関わる仕事についており、行事などに関して食品ロスに取り組んでいる。町として取り組みにあたり、町民に周知を行い、意識的に取り組みを進める必要があると思う。

#### 【委員】

世界で飢えている人が多くいる中で日本は恵まれていると思う。個人的には子どもが自立し、夫と2人暮らしになったことで、これまでと同じように作ると作り過ぎてしまっていた。現在は、1週間ごとにおかずのキットを送ってもらう仕組みがあり、それを活用してからは食品を廃棄することがなくなった。金銭的にかかるように思われるが、ちょうど使いきれぬ量であり、日々の献立や買い物のストレスがかからなくなったことのメリットは大きい。

#### 【委員】

農家の手伝いに行く機会があり、販売に向かないとの理由で廃棄される野菜をもらっている。形は悪いが食べられるものが多く、廃棄するのはもったいないと感じてしまう。

#### 【委員】

家庭菜園で食べきれなかったものを最近処分してしまった。スーパーなどでも使いきりの小分けのキットが売られていると手軽に買えるし、それらのキットが地産地消的な観点と結びつくと良いのでは思う。

#### 【委員】

フードバンクのように食材等を寄付できる場所を設け、自由に置いて自由に持って帰る仕組みがあると、困っている人にも役に立つし、良いのでは。さらに、不要になった食材は家畜の飼料に転用できれば良いのではないかと思う。

#### 【委員】

飲食店との意見交換を行うと説明があったが、飲食店は様々な努力をされていると個人的に感じている。個人や家族で食べに行く程度であれば食べ残しはないと思うが、個人的に問題と思うのが宴会での食べ残し。頼む側が頼みすぎることで食品ロスが発生しているのではと考えるため、飲食店よりも宴会を利用する

人の意識を変える取組も必要かと考える。

**【委員】**

スーパーなどで消費期限の新しいものから購入することがあるが、古いものから購入する「手前どり」を実践して行く必要があるのでは。賞味期限・消費期限は的確にわかりやすくできる工夫が必要では。また、他の委員より「フードバンク」の取り組みについて意見が出されていたが、人口の多いところでは実行可能でも、芽室町の人口規模で実施するには難しいと聞いた。

**【委員】**

当事業所では、食品に関わる事業を実施しており、冷凍技術で消費期限を延ばすよう取り組んでいる。それでもどうしても出てしまう廃棄物に関しては、98%は家畜の飼料としており、残る2%に関してもメタン発酵させバイオガスになるよう取り組んでいる。

他の委員から小分けにして販売したら無駄が減るのではと意見があったが、確かにロスが少なくなる一方、容器などの準備に手間と費用が掛かることが課題となる。

個人としては無駄なものを買わないよう心掛けている。

(2) 芽室町地球温暖化防止実行計画策定について

齋藤参事から資料に基づき説明。

※各委員からの地球温暖化防止実行計画に対する意見等

**【委員】**

地球温暖化対策といっても漠然としていて分からない、というのが正直のところ。具体的なデータを示してもらってから意見を交わすような流れにしたいと思う。意識醸成が重要だと思うが、アンケートを取るだけでなく、町民が議論できる場を用意することも必要と思う。

**【委員】**

町内の街路樹に対する意見。街路樹の剪定を行った後を見たが、丸裸で悲しい気持ちになった。音更町はイチョウ並木がきれいであり、地球温暖化にも一役買っていると思う。確かに落ち葉が落ちるといった問題もあるが、町内会の加入率も減っており、活動も難しくなっているのであれば、例えば道路のマスなどに花を植える代わりに、グランドカバーになる植物を植え手間のかからない緑化になる取り組みが必要では。自分自身は公共交通機関の利用など意識して行動している。一つ一つの積み重ねが大切だと思う。

**【委員】**

地球温暖化防止実行計画の取り組みについて、町が本気で取り組まないと町民はついてこないと思う。町民が分かりやすい具体的な数字を示した上で、どのように地球温暖化対策を進めていくのかというストーリーを示してあげなければ町民は理解できないと思う。今後出てくる新しい技術に台頭も含めてのゼロカーボン目標だとは思いますが、家庭でできることやその削減量が分かりやすく示される計画であってほしい。

**【委員】**

質問：芽室町ではバイオマス発電には取り組んでいないのか。

回答：今のところはない。バイオマス発電の先進地は、十勝では士幌・上士幌・鹿追などが挙げられるが、自治体の農家種別構成が大きく異なり、これらの自治体では畜産が主となっているため家畜ふん尿による

バイオマス発電を行っている。芽室町は畑作が全体の9割を占めており、畜産・酪農業による家畜ふん尿もあるが、エネルギーに置き換えられるだけの分量が確保できない。一方で再生可能エネルギーの取組は必要と考えており、今後検討していく予定であるが、費用対効果や設備導入による二酸化炭素排出量増などが課題になるため、丁寧に検討する必要がある。

#### 【委員】

EV車の普及を推進とあるが、動力の電気は火力発電で多く賄われており、発電の際に二酸化炭素が排出されることから、結局は本末転倒な気がする。そういった事態を解決しないと次に進まないような気がする。

#### その他

#### 【委員】

芽室町がごみの処分にどのくらい費用が掛かっているかわかる資料を作成してほしい。ごみに係る収支を町の資料として提供する必要がある。

→令和6年1月に開催予定の第2回環境審議会において、資料として提供する。

その他、特になし。

16時40分 終了